

## 500トン以上の大・中型機を中心に事業展開 本年3月、2400トンのサーボプレスを納入



春山紀泰 社長

■株式会社 エイチアンドエフ  
本社 〒919-0695 福井県あわら市自由ヶ丘1-8-28  
TEL: 0776-73-1220  
http://www.h-f.co.jp

### ■統合効果で経営は順調な足取り

一般景況の好転を映して、プレス業界にも明るさが戻り、先行きの展望が描きやすくなってきた。鍛圧機械業界全体の業績も堅調だが、1999年7月の統合によって、それぞれの持ち味を生かし、全体を補完し合いながら事業を着実な回復軌道に乗せてきたのがエイチアンドエフである。

社名は、日立造船のプレス部門と、福井機械との統合に由来する。中・大型プレスとプレス関連自動化装置の開発・設計・製作・アフターサービスまでを一貫して供給できる総合プレスメーカーの誕生である。同社は統合によって事業の安定度

を増し、この3年間は受注、売り上げともに創業以来の記録を更新し続け、なお受注残を抱える。かつてない「いい状況」(春山紀泰社長)で、さらに今後とも自動車業界の積極的な海外展開などを好材料として、着実な成長が続くとの見通しを立てている。

事業は、売り上げの半分を占めるプレス部門を筆頭に、自動化装置、アフターサービスの3部門を柱としている。

### ■今後の開発ターゲットはサーボプレス

製品納入先は、自動車関連が主体。プレス部門では、トランスファー、タンデム、プランキング、順送、鍛造、トライアルなど、ほとんどの機種をカバーする。納入実績は、500トン以上の大・中型機中心に国内向けに約2000台、海外向けに約900台という数字を積み上げている。営業拠点としては、国内に東京、北関東、名古屋、大阪、広島、小倉の6ヶ所を設け、海外には北米の2拠点を始め、英国、タイ、マレーシア、中国にそれぞれ1ヶ所、計6拠点を置き、納入プレスのアフターサービスに万全を期する。

プレス部門の今後の課題は、スタートアップさせたサーボプレスにある。プレスの先行きは、「サーボへの移行が進み、いずれ主力機種になる」(春山社長)との認識を持つ。だからこそ、先行各社に迫る気概を示す。07年3月、自動車のパネル成型用として2400トンのサーボプレスを納入、実績づくりに一歩踏み込んだ。そのほかサーボプレスへの使用を前提に、2年前に開発着手した自動化設備の超高速搬送装置を、実機の第1号「ヘ

キサフィーダー」として完成させた。

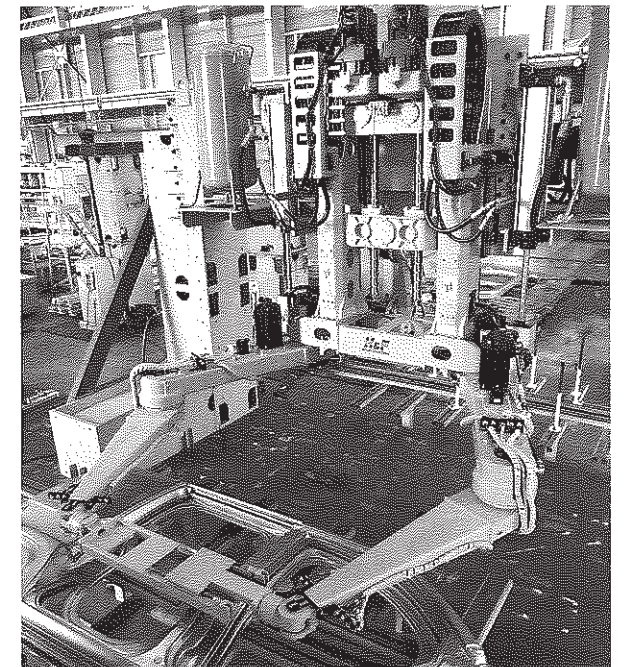
プレス周辺として、トランスファー装置、ディスタック装置、プレス間搬送装置、オートパレタイザー、コイルフィーダー、パイラーのほか、レーザー溶接装置までそろえている。ここでのメリットは、自動車工場のプレス機周辺を、すべて自社設計・製作でまかなっている、つまり自動化装置の内製化という点にある。自動車業界はとくに自動化指向が強く、材料搬入から成型までの一貫した対応は顧客満足の点でも強みを発揮する。

アフターサービス部門では、プレスの移設、予防保全、改造、トラブルサポート、中古プレスの販売などを受け持つ。機械にトラブルはつきものだが、アフターサービスには万全を期しており、その点もユーザーからの評価は高い。例えば、トラブルサポートでは、全世界を対象に、万一のトラブルに対して最短時間で敏速に対応する、トラブル復旧だけでなく原因究明と類似機への水平展開をするなどの措置が講じられている。

### ■航空機の主翼を反転させる治具を開発

最近のトピックスには、自社のホームページでも紹介しているが、航空機の主翼を反転させる治具の開発がある。長さ約30mにおよぶ主翼の表裏に薄膜を貼り付けるときに翼を均等に反転させなければならないが、難度の高い技術をクリアして反転用の治具を完成させた。

もともと同社は、ロケット燃料タンクの溶接治具を作っており、例えばロケットドーム・シリンダー溶接治具などは、HIIロケット製作に関わる実績を誇る。今回の反転装置の納入は、こうした



超高速搬送装置ヘキサフィーダー

実績がベースになっているが、新しい事業シーズを探り出すための社内検討チームを設けているだけに、新事業分野参入への弾みとなりそうである。

技術者対策では、働く意欲の強い定年者の再雇用と新卒採用で十分に確保されている。とくに新卒の採用は、06年11月の株式上場の効果もあり、予想を上回る応募状況だったという。

設備投資はあくまで需要との見合いだが、ここ数年、5億円/年程度の規模を継続している。主なところを見ると、本社工場の大型5面加工機の導入、工作機械のNC化、熊坂工場内のプレスシステム部品組立試運転のスペース倍増などが上げられる。直近では、06年12月に本社工場内にプレスサービス複合組立工場を完成、07年7月には機械工場内に設備した大型中ぐり盤が動き始めた。



2400トンサーボプレス